

(仕様書第 3 号様式)

## かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和 7 年 4 月～6 月分

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

### 1 業務の名称

令和 7 年度かながわコミュニティカレッジ運営業務

### 2 実施した業務の内容等

#### (1) 講座開催計画等の策定

#### (2) 講座企画実施団体への支援業務

- 令和 7 年度講座企画提案団体に選定結果通知を送付した (26 団体・36 講座)。
- 令和 7 年度計画講座の企画実施団体又は講師と打合せをする等、講座開催時期や内容等の調整・確認を行い、年間開催計画を策定した (35 講座)。特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体には講座カリキュラムや運営について個別に相談・助言を行った。
- 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (基礎編) は、定員 40 名に対し 79 名の申込みがあった。県民センター 2 階のホールが確保でき、講座実施団体に相談し申込者全員の受講を受けることとした。全 3 回、講義中心のカリキュラムであったため、定員を増やすことが可能と判断した。
- 傾聴講座入門編①は 40 名定員に対し 69 名の応募があった。落選者には、傾聴講座入門編② (同一講座) を案内した。
- 横須賀市で開催される「多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える」講座の開設準備を行った。横須賀市民生局地域支援部地域コミュニティ支援課様、同市長室危機管理課様、横須賀市立市民活動サポートセンター様、講座実施団体、コミカレ事務局が参加し、打ち合わせを複数回行った。会場の手配や、講義の内容から、託児付きとすることも決め、託児の場所や託児者の依頼も行った。

#### (3) 受講生募集のための広報

- 傾聴講座入門編①は 40 名定員に対し 69 名の応募があった。落選者には、傾聴講座入門編② (同一講座) を案内した。
- 年間開催計画をもとに、広報用パンフレット『令和 7 年度年間講座スケジュール』を作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した (13,000 部印刷、送付先 約 700 件 5 月末に発送)。
- パンフレットの中面に修了生インタビュー記事の抜粋を掲載した。インタビュー記事の全はホームページ上に掲載した。
- 主催講座、連携講座、特別講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した。国際交流ラウンジや行政サービスコーナーなど、配架先の新規開拓も行った (作成数 13 件、送付先 約 700 件)。
- 講座情報を次の媒体を通じて告知した。  
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ (県の HP 及び当団体運営 HP)、かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジン、基金事業課・NPO 協働推進課のメールマガジン、Peatix、県民センター 1 階デジタルサイネージ、市民活動支援センター・社会福祉協議会の WEB 広報、「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク参加団体宛メールへの依頼等
- かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジンは、4 月 25 日、6 月 3 日、6 月 25 日に配信を行った。(メルマガ配信 4,109 件 6 月 25 日時点)
- 自由提案の 1 つである SNS 強化のため、かながわコミュニティカレッジの講座の告知情報

や様子等を発信するため、6月6日より公式 Instagram を開設した。

掲載数 10 件

InstagramURL [https://www.instagram.com/komikare\\_kanagawa/](https://www.instagram.com/komikare_kanagawa/)



- 令和6年度に作成した、「令和6年度活動報告」を増刷(3,000部)し、公共施設への配架やオンラインセミナー参加者、講座受講生に配布した。
- 当団体のかながわコミュニティカレッジホームページの内容を見直し、情報発信を行った。

#### (4) 令和6年度修了生アンケートを実施(令和7年5月30日～)

かながわコミュニティカレッジで令和6年度に実施した県主催24講座の修了生に対して、修了生アンケート及び活動の様子などを記入していただく近況報告シートを郵送した(修了生総数532名、延べ修了者数656名 調査期間は7月25日まで)。返信された近況報告シートはコミュニケーションボードに順次掲示している。

#### (5) ボランティア活動未経験者層の参加促進講座(特別講座)の企画・実施

令和7年6月29日にボランティア活動未経験者層を主な対象とする参加無料のオンラインセミナーを開講した。視覚障がいの方も参加されており、事前の打合せと受講後のフォローを行った。

※実施概要等は別紙参照

### 3 その他

- チラシや年間講座スケジュールがどのように配架されているか、ボランティア情報の収集、市民活動支援センター職員との情報交換等を目的に、事務局スタッフが各施設に訪問した。さがみはら市民活動サポートセンター、ちがさき市民活動サポートセンター、藤沢市市民活動推進センター、茅ヶ崎市役所、川崎市幸区役所、川崎市幸市民館、二俣川駅行政サービス、今宿地区センターなど
- コミュニティカレッジ主催講座の助成金・奨励金について、メールマガジンやボランティア活動未経験者層の参加促進講座(オンラインセミナー)で案内を行った。
  - 「人材育成支援事業助成金 一般社団法人かながわ土地建物保全協会地建物保全協会」
    - ※対象講座については、助成金の案内を同封するなどして対応。
    - 「横須賀市 市民公益活動人材育成研修受講奨励金制度」
      - ※受講決定通知を送付する際に、横須賀市民の受講生に奨励金の案内を同封している。
- かながわコミュニティカレッジ事務局スタッフの個人情報保護研修を行った(4月18日)。
- スタッフ研修、OJTなど
  - ◆事務局スタッフ個人情報保護研修 令和7年4月18日(金)
  - ◆かながわ県民センター防災研修参加 令和7年5月29日(木)、6月27日(金)
  - ◆かながわ人生100歳ネットワーク講演会参加 令和7年6月27日(金)
    - テーマ:「ジェロントロジーが創る” 明るい” 長寿社会の実現に向けて  
～これから必要な取組みとは？」
    - 講師: ニッセイ基礎研究所上席研究員 前田 展弘 氏

以上

(別紙)

## 実施概要 ボランティア未経験者層の参加促進講座（特別講座）

講座名：「かながわコミュニカレッジセミナー 地域コミュニティを考える」

日 時：令和 7 年 6 月 29 日（日）13:30～15:00

会 場：Zoom によるオンライン開催

内 容：第 1 部 基調講演 『「よきこと」をつなげる、「よき存在」になる  
～コロナ禍後の地域コミュニティを考える～』

講師 講師 牧野 篤（まきの あつし）氏

大正大学地域創生学部 教授

かながわ人生 100 歳時代ネットワーク座長

第 2 部 令和 7 年度かながわコミュニカレッジ講座の紹介

年間講座パンフレットや講座写真などを使い、具体的な講座内容、受講方法

受講料：無料

定 員：50 名

参加者：63 名（申込み 78 名）

以下、参加者アンケート結果（回答 40 人） ※現在アンケート受付中のため中間報告

## 【参加者属性】

- ・回答者は男性 18 人（45.0%）、女性 22 人（55.0%）。  
年齢層は 60 代が最も多く 17 人（42.5%）、次いで 70 代（27.5%）、50 代 7 人（17.5%）、40 代が 4 人（10.0%）、80 代が 1 人（2.5%）からの回答があった。
- ・回答者の 19 人（47.5%）がコミュニカレッジの受講がない方であった。
- ・ボランティア活動の経験がある人は 34 人（85.0%）、経験がない人は 5 人 12.5%であった。
- ・セミナーを受けて地域活動に「参加したいと思った」は 15 人（40.0%）、「既に参加している」が 20 人（45.0%）であった。

## 【参加者の感想（抜粋）】

- ・年代を超えてのコミュニティの必要性がこれからは必要と感じました。
- ・ありがとうございました。事例（動画・写真）がわかりやすく、活動している方の思いが伝わりました。AAR 循環から代謝へ、で次々におもしろいことが起こり、Be-ing であることで Do-er やる人になり よき存在になるという流れが 印象に残りました。
- ・社会変化を取り入れた人生 100 年時代の生き方を考えるきっかけになりそうです。また、人との繋がりや地域コミュニティの大切さなど、とても勉強になりました。
- ・牧野先生のお話を伺って、地域活動は自分の周りで良い人間関係を広げ構築していくことなんだと思いました。今までは地域活動やボランティアは何かを支援するというイメージを持っていましたが、関わっていくなかで自分の生き方や自分の価値が広がっていくアップデートされていくということなのかなとも思いました。大学の先生から、広い視野を持って目の前のことをどう捉えるかということなどお話を伺うことができとても有意義が時間となりました。
- ・地域での実際の活動の実例から、同じ思いを持っている人達の小さな行動から大きな活動につながられる、未来につながるんだということを感じられました。私も何かが出来るとも思えないという思いになりました。
- ・牧野先生の本を何冊か読んでいたので、直接お話を聞く機会を提供いただきありがとうございました。人口構造の変化が少子化の要因になっていること、利用者をお客様扱いすることがクレームを増やしていることなど、腑に落ちる点が多々あり、非常に有益な講座でした。
- ・大変勉強になりました。事例として挙げられていた活動がとてもすてきだなと思いました。  
中学生・高校生の子もたちが輝いて見えました。